

# 第 10 回新生児内分泌研究会学術集会プログラム

日 時 : 2016 年 9 月 17 日 (土) 10:00~18:00

会 場 : 京都烏丸コンベンションホール 8F 大ホール  
(阪急電車烏丸駅 地下鉄四条駅 徒歩 3 分)

参加費 : 2,000 円

## Program

10:00~10:05<開会の辞> 京都大学医学部附属病院 小児科 (新生児集中治療部) 病院教授 河井 昌彦先生

10:05~11:20<一般演題①~⑥> 座長: NHO 佐賀病院総合周産期医療センター 新生児科 高柳 俊光先生

- ①「胎便関連性腸閉塞症に対する胃内ガストログラフィン注入と甲状腺機能異常の関連性」  
演者: 神奈川県立こども医療センター 新生児科  
小豆澤敬幸、豊島勝昭、下風朋章、岸上真、柴崎淳、星野陸夫、大山牧子、猪谷泰史
- ②「母体抗甲状腺薬投与により新生児甲状腺腫・甲状腺機能低下症をきたした 1 例」  
演者: 兵庫県立こども病院周産期医療センター新生児科  
谷 和祐、松井紗智子、山田 優里子、村田 剛士、山内貴未、生田寿彦、李進剛  
武岡恵美子、玉置祥子、大久保沙紀、秋田大輔、三村仁美、芳本 誠司、中尾 秀人
- ③「母乳を介したヨウ素過剰摂取による TSH 遅発上昇型先天性甲状腺機能低下症」  
演者: 奈良県総合医療センター 新生児集中治療室  
安原肇、箕輪秀樹、堀田有希、秋定直宏、新居育世、恵美須礼子、扇谷綾子
- ④「肺高血圧症と心肥大を伴った新生児甲状腺機能低下症の 1 例」  
演者: 奈良県総合医療センター 新生児集中治療室  
秋定直宏 恵美須礼子 堀田有希 新居育世 安原肇 扇谷綾子 箕輪秀樹
- ⑤「TSH 高値を伴わない低サイロキシン血症を呈した極低出生体重児に対する  
レボチロキシン補充療法が 3 歳時予後に与える影響」  
演者: 1. 東京都新生児研究グループ  
2. 東京女子医科大学母子総合医療センター新生児医学科  
3. 東京都立墨東病院周産期センター新生児科  
内山温 1,2、九島令子 1,3、渡邊とよ子 1,3、楠田聡 1,2
- ⑥「新生児一過性副甲状腺機能低下症の 2 症例」  
演者: NHO 佐賀病院総合周産期母子医療センター小児科  
\* 現佐賀県医療センター好生館小児科 \*\* 愛媛県立中央病院新生児科  
七條了宣、中山愛子、川崎祥平、大串栄彦\*、浦島真由美、宮村文弥、松永友佳  
江頭政和、井上博晴\*\*、船越亜希子、江頭智子、水上朋子、高柳俊光

11:20~12:05<ミニレクチャー>

「 晩期循環不全 ～超早産児の予後からみたこれからの課題と対策～」

座長: 大阪市立総合医療センター 総合周産期母子医療センター長 市場 博幸先生

演者: 東京女子医科大学母子総合医療センター 新生児医学科 講師 中西 秀彦先生

12:05~12:15

<Coffee Break>

12:15~13:15<ランチョンセミナー>

「 外性器異常を呈した児への対応 ～多職種チームによる臨床管理～」

座長：大阪大学病院 総合周産期母子医療センター副センター長 講師 和田 和子先生

演者：大阪府立母子保健総合医療センター 副院長 消化器・内分泌科 位田 忍先生

13:15~13:25

<Coffee Break>

13:25~14:40<一般演題⑦~⑫> 座長：東京女子医科大学母子総合医療センター 内山 温先生

⑦「小児内分泌専門医のいないNICUにおける早産児の性分化疾患の診断経験」

演者：安城更生病院 小児科・新生児科 1 市立半田病院 小児科 2

服部哲夫 1 加納孝真 1,2 棚橋義浩 1 呉尚治 1 浅田英之 1

深沢達也 1 久保田哲夫 1 加藤有一 1

⑧「極低出生体重児の3歳時の重度低身長（身長zスコア<-2.5）と

NICU入院中のzスコアとの関係」

演者：NHO 佐賀病院総合周産期母子医療センター小児科

高柳俊光、中山愛子、川崎祥平、七條了宣、浦島真由美、宮村文弥

松永友佳、江頭政和、船越亜希子、水上朋子、江頭智子

⑨「1か月健診に来院した正期産児のLC-MS/MSによる血清25(OH)D定量的評価」

演者：慶應義塾大学医学部小児科学教室

原香織、池田一成、長谷川奉延

⑩「プロゲステロン投与に伴う早産児ステロイドカスケードの変化の検討」

演者：1.岡山大学小児科

2.東京女子医科大学母子総合医療センター新生児医学科

3.神戸薬科大学病態生化学研究室

鷲尾洋介 1 戸津五月 2 増本健一 2 中西秀彦 2 内山温 2 楠田聡 2

多河典子 3 小林吉晴 3

⑪「先天性心疾患母体児の出生体重の検討」

～母体 brain natriuretic peptide 高値は small for gestational age のリスクファクター～

演者：東京女子医科大学 母子総合医療センター新生児医学科

石田宗司、渡邊宏和、上野大蔵、末永英世、今井憲、大野秀子

首里京子、増本健一、戸津五月、中西秀彦、内山温、楠田聡

⑫「グリベンクラミドの未熟児動脈管開存症に対する投与量の考察」

演者：東京女子医科大学循環器小児科

豊島勝昭 門間和夫 中西敏雄

14:40~14:50

<Coffee Break>

14:50~16:20<一般演題⑬~⑲> 座長：神奈川県立こども医療センター 新生児科 豊島 勝昭先生

⑬「在胎期間 28 週 0 日 出生体重 512g (-4.1SD) 著明な

子宮内発育不全児に認められた高血糖、低リン血症」

-これは Refeeding syndrome でしょうか？-

演者：JCHO 徳山中央病院 小児科（山口県）

伊藤智子 立石浩 江見咲栄 向野文貴 岡田裕介 堀田紀子 松藤博紀 内田正志

⑭「ドキサプラム使用前後の血液カリウムの推移」

演者：神奈川県立こども医療センター 新生児科

下風朋章 豊島勝昭 生田泰久 小豆澤敬幸 友滝清一 兼次洋介

岸上真 柴崎淳 星野陸夫 大山牧子 猪谷泰史

⑮「低ナトリウム血症時の FENa 低値は相対的副腎不全発症の予測因子となる」

演者：京都大学大学院 発達小児科学講座

花岡信太郎 河井昌彦 高橋知也 桐野万起子 山本茜 岩永甲午郎

内山環 松倉崇 丹羽房子 平家俊男

⑯「新生児期早期の血糖値とインスリン/IGF シグナルの検討」

演者：鳥取大学医学部 周産期・小児医学分野

藤本正伸 鞆嶋有紀 宮原史子 宮原直樹 西村 玲 花木啓一 神崎 晋

⑰「高血糖に対しインスリン治療を要した超低出生体重児の検討」

演者：大阪市立総合医療センター 新生児科

原田明佳(はらだ さやか)、市場博幸、田中裕子、大西聡、岩見裕子

松村寿子、菅彩子、朝田裕貴

⑱「新生児血糖管理におけるリアルタイム持続血糖モニタリングの臨床的有用性」

演者：神奈川県立こども医療センター 新生児科

友滝清一、豊島勝昭、岸上真、下風朋章、柴崎淳、星野陸夫、大山牧子、猪谷泰史

⑲「新生児糖尿病が疑われた超低出生体重児に対してリアルタイム持続血糖測定付き

インスリンポンプ（SAP）療法を行い、最終的にインスリンを離脱できた一例」

演者：石井記念愛染園附属 愛染橋病院 小児科

沖 啓祐、甲斐 明彦、藤岡 澄司、鶴長 玄哉、福井 裕香、山口 智裕

鈴木 晶子、高尾 大士、井石 倫弘、前川 周、隅 清彰、塩見 正司

16:20~16:30

<Coffee Break>

16:30~17:20<特別講演>

「新生児内分泌の話題 - 過去 10 年を振り返って - 」

座長：東京女子医科大学母子総合医療センター 新生児医学科 教授 楠田 聡先生

演者：京都大学医学部附属病院 小児科（新生児集中治療部）病院教授 河井 昌彦先生

17:20~17:25<閉会の辞> 東京女子医科大学母子総合医療センター 新生児医学科 教授 楠田 聡先生

共催： 新生児内分泌研究会  
JCRファーマ株式会社

# 京都烏丸コンベンションホール

## 会場案内図

住所： 〒604-8162 京都市中京区烏丸通六角下る七観音町 634

TEL： 075-231-6351 FAX：075-231-6354



- 市営地下鉄烏丸線「四条」駅 21番出口 徒歩3分
- 阪急京都線「烏丸」駅 21番出口 徒歩3分
- 市営地下鉄東西線「烏丸御池」駅 5番出口 徒歩4分